

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎の市街地に人類史上初の原子爆弾が投下され、78年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。座間市にも被爆者がいらっしゃいます。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、66年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、41年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

昨今の世界情勢の変化により、核兵器使用の脅威が強く懸念されていますが、一方で核兵器廃絶に向けて国連等でも様々な取組みがなされているところでもあり、今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2023年8月6日

アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ラーム・エマニュエル 閣下

座間市原水爆禁止協議会
会長 佐藤 弥斗

事務局
神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市総合政策部人権・男女共同参画課
電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎の市街地に人類史上初の原子爆弾が投下され、78年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。座間市にも被爆者がいらっしゃいます。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、66年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、41年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

昨今の世界情勢の変化により、核兵器使用の脅威が強く懸念されていますが、一方で核兵器廃絶に向けて国連等でも様々な取組みがなされているところでもあり、今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2023年8月6日

英国大使館

特命全権大使

ジュリア・ロングボトム 閣下

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥斗

事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

座間市総合政策部人権・男女共同参画課

電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎の市街地に人類史上初の原子爆弾が投下され、78年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。座間市にも被爆者がいらっしゃいます。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、66年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、41年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

昨今の世界情勢の変化により、核兵器使用の脅威が強く懸念されていますが、一方で核兵器廃絶に向けて国連等でも様々な取組みがなされているところでもあり、今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2023年8月6日

ロシア連邦大使館

臨時代理大使

オヴェチコ・ゲンナーディー 公使参事官

座間市原水爆禁止協議会

会長 佐藤 弥斗

事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

座間市総合政策部人権・男女共同参画課

電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎の市街地に人類史上初の原子爆弾が投下され、78年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。座間市にも被爆者がいらっしゃいます。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、66年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、41年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

昨今の世界情勢の変化により、核兵器使用の脅威が強く懸念されていますが、一方で核兵器廃絶に向けて国連等でも様々な取組みがなされているところでもあり、今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2023年8月6日

中華人民共和国大使館
特命全権大使
呉 江浩 閣下

座間市原水爆禁止協議会
会長 佐藤 弥斗

事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市総合政策部人権・男女共同参画課
電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎の市街地に人類史上初の原子爆弾が投下され、78年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。座間市にも被爆者がいらっしやいます。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、66年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、41年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

昨今の世界情勢の変化により、核兵器使用の脅威が強く懸念されていますが、一方で核兵器廃絶に向けて国連等でも様々な取組みがなされているところでもあり、今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2023年8月6日

フランス大使館
特命全権大使
フィリップ・セトン 閣下

座間市原水爆禁止協議会
会長 佐藤 弥斗

事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市総合政策部人権・男女共同参画課
電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎の市街地に人類史上初の原子爆弾が投下され、78年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。座間市にも被爆者がいらっしゃいます。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、66年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、41年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

昨今の世界情勢の変化により、核兵器使用の脅威が強く懸念されていますが、一方で核兵器廃絶に向けて国連等でも様々な取組みがなされているところでもあり、今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2023年8月6日

インド大使館
特命全権大使
シビ・ジョージ 閣下

座間市原水爆禁止協議会
会長 佐藤 弥斗

事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市総合政策部人権・男女共同参画課
電話 046-252-8087

核兵器を廃絶し平和を求める声明

1945年8月、広島・長崎の市街地に人類史上初の原子爆弾が投下され、78年が過ぎました。この原子爆弾により、多くの尊い生命が一瞬にして奪われたのみならず、一命をとりとめた方々も、生涯いやすことのできない傷跡と後遺症に苦しみ不安な毎日を送っています。座間市にも被爆者がいらっしゃいます。

当市はこのことを憂い平和の尊さを痛感し、1957年に市民参加をもって「座間市原水爆禁止協議会」を結成いたしました。毎年8月に募金運動を行い、その貴重な浄財を基に、被爆者の援護活動や広く原水爆禁止運動に活用し、66年間地道にして根強い活動を展開しております。

更に1982年には別記のとおり「核兵器廃絶平和都市宣言」を行うとともに運動の強化を図り、41年間核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を求めてまいりました。

昨今の世界情勢の変化により、核兵器使用の脅威が強く懸念されていますが、一方で核兵器廃絶に向けて国連等でも様々な取組みがなされているところでもあり、今こそ貴国が率先して核兵器を廃絶し、恒久平和の道を歩まれることを強く期待するものです。

あらためて、私ども座間市13万余市民は核兵器の無い平和な世界が一日も早く実現することを切望し、貴国の一層の努力を真に懇願いたします。

2023年8月6日

パキスタン・イスラム共和国大使館
特命全権大使
ラザー・バシール・ターラル 閣下

座間市原水爆禁止協議会
会長 佐藤 弥斗

事務局

神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
座間市総合政策部人権・男女共同参画課
電話 046-252-8087